WMS レイヤの検索と使用



TNT 製品でのWebマップサービス (WMS) レイヤの選択は2段階で行います。ステップ1では、 WMS を選択します。選択には<ウェブマップサービスの選択 (Web Map Service Selection) > ウィンドウを使います。ステップ2では、選択した WMS が提供するレイヤから見たいものを 選びます。このステップでは< Web Map Service レイヤコントロール (Web Map Service Layer

Controls) >ウィンドウを使います。このウィンドウでは、選択したレイヤや透明度などの WMS 固有のパラメータをコ ントロールできます。いずれのステップでもあなたのコンピュータと WMS 間で通信が行われるため、インターネット に接続している必要があります。例えば、TNTserver で公開している企業の地図データのように私的な WMS は、ロー カルのイントラネットや私的なネットワークでしか利用できず、パスワードがないとアクセスできないものもあります。 パスワードで保護された地図データも、TNTserver を使ってインターネット上で公開できます。WMS のレイヤ表示が 上手く行くかどうかは、接続性にかかっています (テクニカルガイド「空間表示:表示する WMS レイヤの選択 (Spatial Display: Select WMS Layers for Viewing)」参照)。

ウェブマップサービスの選択 <ウェブマップサービスの選択>ウィンドウに は、[最近の閲覧 (Recent)]、[お気に入り (Favorites)]、[カタログ (Catalogs)]、 [検索 (Search)]の4つのタブパネルがあります。WMS レイヤを追加すると、[お 気に入り]パネルが前面に出ます。

[お気に入り]パネル [お気に入り]パネルにはデフォルトで表 示されている項目があり、マイクロイメージ社のサーバにリン

クが張られています。データは米国農務省 (USDA) が収集した米国各州ごとの 📔 シームレスな正射画像で、TNTmips を使って特別に Web 指向の階層型タイル



s Catalogs Search

セット構造にモザイクしたものです。[お気に入り]パネルに他の項目を追加するには、[カタログ]や[最近の閲覧]、 [検索 / 結果 (Search/Result)]パネルで項目を選択し、[お気に入り]タブをクリックして、[お気に入りに追加 (Add to Favorites)] ボタンをクリックします。別のパネルで WMS を選択し、その WMS から応答を受信して下のフィールドに URL が表示されるまで、[お気に入りに追加] ボタンはアクティブになりません。このフィールドに URL を入力または 貼り付け、[Enter] キーを押して要求を開始することもできます。WMS から応答を受信すると、[お気に入りに追加] ボ タンがアクティブになります。

[最近の閲覧]パネル WMS レイヤを表示すると、表示した WMS が [最 近の閲覧]パネルにある一覧に加わり、次回から簡単にアクセスできるよ うになります。一覧には最近選択した WMS を 30 個まで表示できます。 このパネルで項目をクリックしても、選択した WMS への要求を開始し ます。これは、[カタログ]パネルで説明している 2 回目の要求と同じで す。応答を受信すると [OK] ボタンがアクティブになり、WMS 中のレイ ヤ選択に進むことができます。一覧で WMS 名の上にカーソルを置くと、 その URL がデータティップとして表示されます。

[**カタログ**]パネル WMS のカタログは XML ファイルであり、一般の Web サーバで利用できる WMS を一覧表示します。パネルには TNT 製品

がインストールしたカタログ一覧が表示され、その中にはマイクロイメージ社が管理しているレイヤを参照するカタロ グも含まれます。参照レイヤとして使用できる WMS 素材をこのカタログから見つけることができます。



(2ページ目へ)

[最近の閲覧]タ

ブパネルには、

最近閲覧した WMSが一覧表

示されます。

マイクロイメージ社の Web サービス用カタログについては、テクニカルガイド「システム:マイクロイメージによる WMS と ArcIMS カタログ (System: MicroImages' WMS and ArcIMS Catalogs)」をご覧ください。[カタログ]パネルは カタログの一覧を表示しており、この段階では WMS とは通信しません。カーソルをカタログの上に置くと、URL や概 要を表示することができます。カタログ名の左にある + 印をクリックしてカタログを開くと、TNT はカタログの発行元 の Web サイトにその内容を問い合わせます。応答を受信すると、選択したカタログ内の WMS の一覧が表示されます。その中の 1 つをクリックすると、選択した WMS に対して様々な情報 (利用できるレイヤやその地理範囲、形式、サポートされている座標参照系、アクセス許可の情報など)の要求を開始します。この 2 回目の応答を受信すると、WMS の URL とタイトルがウィンドウの下に表示されます。[OK] ボタンがアクティブになり、< Web Map Service レイヤコントロール>ウィンドウが開いて WMS から表示したいレイヤを選択できるようになります。

[検索]パネル [検索]パネルについては、テクニカルガイド「空間表示:マイクロイメージ社の WMS レイヤカタロ グの検索 (Spatial Display: Searching MicroImages' Catalog of WMS Layers)」をご覧ください。

共通のフィールドとその機能 初めの3つのパネルの項目の上で右クリックすると、一覧からその項目を削除できます。 選択ウィンドウの下にあるURLとステータスフィールドは4つのタブ全てで共通です。また、[カタログ]や[最近の 閲覧]、[検索]パネルの[結果]タブで選択したWMSは、[お気に入り]パネルのお気に入りに追加されます。WMSを 再選択する必要はありません。カタログに対してURLを入力して一覧に追加したり、WMSのURLを直接ウィンドウの 下に入力することもできます。どのパネルでWMSを選んでも、[OK] ボタンを押して<Web Map Service レイヤコント ロール>ウィンドウを開いた後の手順は同じです。

Web Map Service レイヤコントロール

<ウェブマップサービスの選択>ウィンドウで [OK] ボタンを押すと、< Web Map Service レイヤコント ロール>ウィンドウが開きます。様々な表示オプショ ンと共に選択した WMS で利用できるレイヤが一覧表 示されます。その WMS のレイヤの発行のし方によっ て、ウィンドウ内のレイヤがグループ化されていたり、 レイヤ名の左にある + 印をクリックして広げたりでき ます。選択できるレイヤの前にはチェックボックスが 付いています。開くことができるグループに関しては、 チェックボックスにチェックを入れて、グループを開



き、中に含まれているレイヤを選択します。既に指定している WMS の表示に新たにレイヤを追加したり変更するには、表示マネージャで

[レイヤコントロール]アイコンをクリックして<Web Map Service レイヤコントロール>ウィンドウを開き、現在チェッ クされているレイヤを変更します。[適用 (Apply)] ボタンを押せば、<Web Map Service レイヤコントロール>ウィン ドウを閉じることなく変更を反映して表示できます。

ここをクリックすると、 グループの下位にあるレ イヤが表示されます。レ イヤを1つだけ選ぶには、 まずグループのボックス のチェックを外します。



レイヤー覧から好きな数だけレイヤを選ぶことができます。表示マネー ジャやエディタレイヤマネージャで [Web レイヤの追加] アイコンをクリッ クして「Web マップサービス (OGC)」メニューを選択すると、新しいレイ ヤとして追加されます。< Web Map Service レイヤコントロール>ウィン ドウにおいて複数のレイヤを選択した場合、これらのレイヤの合成画像が 表示されます (上図)。同じ WMS に属するレイヤの表示を分けたい場合は、

表示マネージャの [Web レイヤの追加] ボタンを使って、別の WMS レイヤとして追加しなければいけません。